グラフィック社 12月の新刊

オールカラー / 天地150 mm x 左右100㎜
上製 / 176ページ

シリーズ20作目！ 累計27万部超の大人気ロングセラー！

ちいさな手のひら事典
秘密の教え

錬金術、手相術、数秘術、オカルティズム、心霊主義などに
もとづく78の「秘密の教え」を見開き1ページで解説。
古から人々が神秘を信じ、探求してきた歴史を紐解きます。
年末年始に向けて高まる「占い」「スピリチュアル」
「神秘」への関心に応える一冊です。

**手のひらはすべてを語る！／人生の成りゆきを読むカード／未来を占うアルカン／
水晶球が明かすもの／未来を示唆する数字／来世との交信／
星占い／死神／生まれ変わってよりよく生きる／再生の血を求めて／
魔除けとお守り／守護天使／セイラムの魔女裁判／魔法の植物／
世界の迷信／石の力／色の心理学／テレパシーは可能か？／
ファラオの呪い…など78項目**

レトロでミステリアスなイラストが魅力
クッション製本と金の小口が豪華な装丁！

驚異の予言

ミシェル・ノストラダムス(1503-1566)は黒刑時で、生涯を通して錬金術師や学者を含む数多くの学識者に出会いました。今も人びとの記憶に残るノストラダムスの評判は、南仏エクサン・プロヴァンスでペスト患者の治療に携わっているとき、ネズミがペスト菌を媒介することを発見し、対策を講じたことも影響しています。また、カトリーヌ・ド・メディシスの庇護を受け、シャルル9世の顧問を務めました。とりわけ著書『百詩篇集(予言集)』(1555年)が有名で、これまでにおびただしい数の注解者が、詩変した文体とギリシア語、ラテン語、プロヴァンス方言が混在する中期フランス語で書かれ、さまざまな解釈が可能であるこの難解な作品に取り組んできました。最もよく知られているのは、フランス王アンリ2世の死(モンゴムリ伯ガブリエル・ド・ロルジュとの馬上槍試合で目を突かれたのでした)を予言した驚嘆的な4行詩です。そのほか、別の4行詩で聖バルテルミの虐殺(1572年)と、ヴェレンヌに逃亡したルイ16世の逮捕(1791年)を的中させています。

ノストラダムスの予言は、現在も人びとを魅了し続けていますが、同時に、それは多くのフェイクの原因にもなっています。そのなかには、広島への原爆投下や2001年9月11日のアメリカ同時多発テロ事件などを予言したというものがあります。さらには、2020年、新型コロナウイルス感染症の大流行を予言したと解釈する人まで出ています(「魂が破壊することのないよう、鴨の頭の仮面をつけなさい」)。

30

宇宙からの脅威

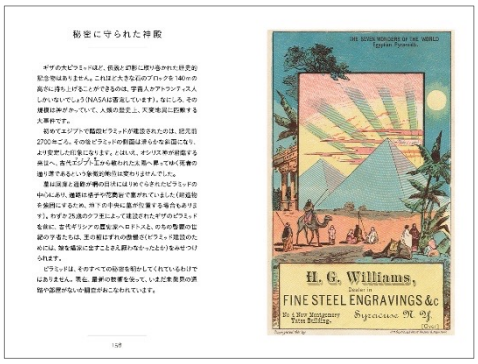
空飛ぶ円盤(UFO：未確認飛行物体)は、一般に危険視されていました。宇宙人がわたしたちを服従もしくは全滅させるために、または地球を奪いに来たのだろうという人もいれば、はるかに優れた知能を有する宇宙人のことだから、知識を伝え、わたしたちを助けようとはるばる地球まで来たのだろうという人もいました。精神科医カール・グスタフ・ユングは、UFOはかつての守護天使と同じ役割を果たしていると考えました。UFOは、一種の集団心理現象、またはまれにみられる自然の天体現象なのでしょう。別の天体から来た物体を示す写真や映像は、分析によって編集されていたことがわかっています。

1947年、ロズウェル事件*を機に、宇宙の超常現象を研究するUFO学がいっきに盛り上がります。事件は評判を呼び、陰謀説まで飛び出しました。なかには、墜落時に死亡した宇宙人の解剖写真を撮影しようと試みた人も(もちろん偽物です)。

問き捨てならないのは、2018年、米国防総省が、米国海軍のパイロットが2004年に撮影した、日中、大西洋上を飛行する謎の物体のビデオを開業したことです。飛行士は、「白くて長い、厚みのない物体が物理学的法則では考えられない動きを示し」、「まるでピンポン玉か何かのように移動していた」と報告しています。航空母艦ニミッツの乗組員も近くを飛行するUFOに遭遇しています。

* 墜落したUFOが米軍によって回収されたとした事件

168


秘密に守られた神殿

ギザのピラミッドは、伝説と謎に満ち満ちた巨大な記念物にほかなりません。これほど大きな石のブロック140mの高さに積み上げることができるのは、宇宙人かアトランティス人しかいないでしょう(NASAは否定しています)。なにしろ、その建設はまがまがしいて、人類の歴史と、大変革期に起きる大事件です。

初めてエジプトで幾何ピラミッドが確認されたのは、紀元前2700年ごろ。その後ピラミッドの形態は多少の変遷はあるものの、より安定した形に落ち着きます。ときとして、オシリス神が封印する洞穴へ、古代エジプト王から秘められた高い果ったMC民衆の通り道であるという象徴的解釈は変わりませんでした。

墓は深度と建設が神の目代には知られていたとされたピラミッドの中心にあり、通路は地下や巨柱状で墓がれていました(初期段階の実例にするため、地下の中央に墓が位置する場合もあります)。ちなみに西洋のクフ王によって建設されたギザのピラミッドを除く、古代エジプトの霊柱家ハロ・ドハスは、のちの巨墓の位置が、星たちは、太陽はすべての惑星がピラミッド建設のために、知識を編集に生かすとされ人間がなかったとされ、知識を編集にもかけられます。

ピラミッドは、そのすべての秘密を明かしてくれているわけではありません。現在、建築の技術を生かして、いまだに未発見の通路や部屋がないか調査がおこなわれています。

158

未来を占うアルカン

ブレインジカードはさらに中世が発祥とされるタロット、イタリアでは15世紀に出現し、ルネサンス期の豊かな宮廷図や商業の発小を整さます。タロットカードは、22枚、「0」という最年少で数られた「愚者」のカードは、アルカナが始まりで、ある意味に思はをあるおすものでもあり、波乱という時間の世界を象徴しています。残る21枚のカードは、イラストとともに生活やある程度時間を象徴象徴を表びっています。たとえば、No.10の「車」とされた生活は10度に達した位置に乗車することをやめた人を象徴し、No.13は「死」のカードで、「新界」を表現するNo.21は再単のシンボルに取り組まれています。22枚のタロットは、4つのグループ(フランスでは剣、聖杯、棍棒、コイン、スペインではスペード、クローバー、ハート、ダイヤ)から成るジプシカルカードの5枚があり、キング、クイーン、ナイト、ペイジ、1～10の数字が振られたカードで構成されています。

クロットカードがおかに用いられるようになったのは、19世紀末のこと。南仏のこの紙で製造されたカードの評判が高まったことから、「マルセイユ版」がよく知られていますが、はかに、「ブゲンシン版」などのバージョンも。1910年、オカルティズムが流行する中、エリファス・レヴィ(1810-1875)の下、聖なるこのタロットはいがおこなわれ、このおいがを製じる事が数多く出版されました。

34

サタンという名の神

悪魔崇拝者があがめているのは、世界第2大地の異端者サタン(ルシファー)、サタンはイスラム教、ユダヤ教、キリスト教のいずれにも存在し、「ヤヤ書」(14章12～20節)によると、天使たちは自尊心に満ぬ上ろとして深淵を追放したとされていますが、これについては、オリゲネス(185頃～253頃)とトマス・アクィナス(1225～1274)も言及しています。また、巨約聖書外典「エノク書」には、天使たちが人間の娘たちをもうとしたために天界を追われたと書かれています。悪魔の正体をサタンとしたはルシファーは、神が創造した天使のなかで最も美しく、知に恵を与えてエバに禁断を与えようそそのかしました。悪魔所を追放し、十字架はたらき、見てやらとの間柔的関係はにならアンチキリストの悪魔深神は、「分裂的」一致を強調します。交霊術者、オカルト信者、魔術士等はが支持し、なかでもデカダンス派の作家ジョリス・カルル・ユイスマンス(1848～1907)は代表的です(ただしカトリックに改宗するまでの話です)。

悪魔崇拝者はれ出は悪者で、終わりは地獄を意味し、人間を誘すことを恐いはません。敬愛を守ひけ、あずかるの世界観と死に崇了されます。今日、インターネットとは悪者が増えているようにみえますが、その教は変わりません。

56

書店印	新刊	書　名	注文数
		ちいさな手のひら事典　秘密の教え ドニ・モンタニョン 著 いぶき けい 翻訳 定価：本体　1,800円（税別） ISBN 978-4-7661-3992-1 C0076	冊

株式会社グラフィック社　〒102-0073　東京都千代田区九段北 1-14-17 TEL 03-3263-4318　FAX03-3263-5297